

第11回水先人の人材確保・育成等に関する検討会（議事概要）

日 時：平成29年9月14日（木）15:30～17:30

場 所：海事センタービル 7階 701・702 会議室

出席者：池谷委員、石橋委員、今津委員、太田委員、落合委員（座長）、小野委員、葛西委員、加藤委員、門野委員、小山委員、齋藤委員、竹口委員、西本委員、羽原委員、藤瀬委員、松本委員、村瀬委員

【国土交通省】

蒲生海事局長、七尾審議官、橋本海技・振興課長、大橋首席海技試験官、野村海技・振興課水先業務調整官、笠尾海上保安庁交通部航行安全課長[代理：植松課長補佐]（オブザーバー）

【（一財）海技振興センター】

伊藤理事長、野中常務理事、戸摩常務理事、庄司技術・研究部長

1. 議事

（1）第二次とりまとめ案（審議）

2. 議事概要

（1）第二次とりまとめ案（審議）

事務局から第二次とりまとめ案（資料）について説明の後、質疑応答及び審議を行った。

主な質疑応答又は意見は次のとおり。

- モニタリング委員会で評価がぶつかり合った場合のまとめ役として国はオブザーバーではなく委員として参加した方がよいのではないか。
- 関係者の合意がいただけるのであれば、国も委員として参加する。
- モニタリング委員会の事務局は海技振興センターとの認識でよいか。
- 本検討会と同様に国と海技振興センターが事務局として対応させていただく。
- モニタリング委員会の課題が3つあるが、それぞれ別個に委員会を立てるのではなくなるべく一つにまとめていただきたい。
- モニタリング委員会の運営については、今後、関係者で議論して決めていきたい。
- 責任制限の勉強会について、本検討会との関係を明確にしておいた方がよいのではないか。
- 関係者の合意がいただけるのであれば、本検討会の下部機関と整理することに異存

はない。

- 法人化とは関係なしに、もう少し水先人個人の責任制限についても詰めていただきたい。
- ご意見を伺いながら準備させていただきたい。
- モニタリング委員会とは別に調査・検討する部分があるが、それらは本検討会で取り扱うとの理解でよいか。
- 別に調査・検討する部分については、当然この検討会で決定するものである。
- 中小規模水先区対策及び安全の観点からも、類似行為についても喫緊の課題として対応していただきたい。
- 真剣に取り組むべき課題として個別に議論させていただきたい。

次回の検討会は、今後、事務局より日程調整を行う。

以上